

伝承者養成事業にご協力いただく被爆体験証言者一覧表(50音順)

1	カジモト ヨシヨ 梶本 淑子	高等女学校3年生であった14歳の時、爆心地から2.3km離れた動員先の工場で、飛行機のプロペラ部品を作る作業中に被爆。
2	サイキ ミキオ 才木 幹夫	13歳の時、爆心地から2.2km離れた自宅で、外出するため靴を履こうとしたときに被爆。
3	サコダ イサオ 迫田 勲	7歳の時、爆心地から北西に約19km離れた山中で、屋外での作業後に放射性物質を含んだ「黒い雨」に打たれた。その後、2022年4月に被爆者として認定された。
4	タキグチ ヒデタカ 瀧口 秀隆	4歳の時、爆心地より1.8kmの自宅で朝食後、外にいたら飛行機の音がしたため急いで帰り玄関の引戸を閉めようとしたときに被爆。
5	ナイトウ シンゴ 内藤 慎吾	6歳の時、爆心地から1.7km離れた自宅で、庭にある防空壕の入口で弁慶蟹を捕まえようとしやがんだときに被爆。
6	フキマス トモヨ 脇舛 友子	3歳の時、母の実家がある安芸高田市から呉市の自宅へ車で戻る途中、原爆投下により車が止まり、母に背負われ、線路沿いに広島市内へ入った。